


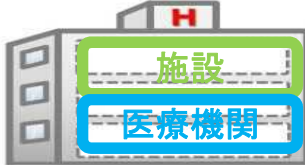



療養病床の在り方等に係る国における検討状況（イメージ）

資料3

- 平成29年度末に、医療療養病床（25対1）及び介護療養病床の廃止を予定（介護療養病床の経過措置は6年？）
- 医療の必要度の低い高齢者は、現在療養病床で対応しているが、機能分担の観点から新たな施設に移行させることを国の「療養病床の在り方等に関する検討会」及び「社会保障審議会（療養病床の在り方等に関する特別部会）」において議論され、一定の取りまとめ
- 制度設計詳細（介護報酬、施設基準、転換支援策 など）に関しては、介護給付費分科会等において引き続き検討

（参考）国の療養病床の在り方等に関する検討会及び特別部会資料

慢性期の医療・介護ニーズに対応するためのサービスモデル（イメージ図）

体制	医療機関 （医療療養病床20対1）	医療内包型		医療外付型	現行の 特定施設入居者 生活介護
	（現行の医療機関）	（案1-1）	（案1-2）	（案2）	
対象者	○医療の必要性が高い者 ○医療区分2、3	○医療の必要性が比較的高く、 <u>容体が急変するリスク</u> がある者 ○長期の医療・介護が必要 ○医療区分1	○医療の必要性が多様だが <u>容体が比較的安定</u> した者 ○長期の医療・介護が必要 ○医療区分1	○医療の必要性が多様だが、 容体が比較的安定した者 ○長期の医療・介護が必要	○医療の必要性が多様だが、 容体が比較的安定した者 ○長期の医療・介護が必要
医療	○人口呼吸器や中心静脈 栄養などの医療 ○24時間の看取り・ターミナルケア ○当直体制	○喀痰吸引や経管栄養を 中心とした日常的・継続的な 医学管理 ○24時間の看取り・ターミナルケア ○当直体制又はオンコール体制	○多様なニーズに対応する 日常的な医学管理 ○オンコール体制による看取り・ ターミナルケア	○多様なニーズに対応する 日常的な医学管理 ○併設する病院・診療所 からのオンコール体制 による看取り・ターミナルケア	○医療は外部の病院・ 診療所から提供
介護機能	介護ニーズは問わない	高い介護ニーズ	多様な介護ニーズ		
想定される 施設の形態	病院・診療所 	長期療養に対応した施設（医療提供施設） 		病院・診療所と居住 スペース 	有料老人ホーム 軽費老人ホーム 養護老人ホーム  

※介護保険施設等への転換を行う場合、介護保険事業計画の計画値の範囲内となることに留意が必要